

クロノロジー型危機管理情報共有システム

# 災害ネット



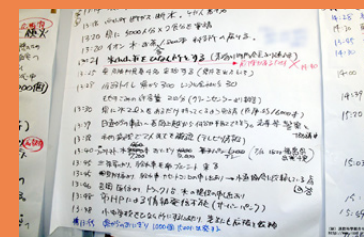
災害時にどこの会社でも行われている  
“クロノロジー(時系列)で記録をする”  
という行為をそのままシステム化。  
大量に押し寄せる情報の収集・共有  
をシンプルな操作で実現します。

Foresight in sight

クロノロジー（時系列）に沿って記録するだけで、  
今、何が起きているのか、リアルタイムに把握。  
ありそうでなかった災害情報収集・共有ツール。

## クロノロジー(Chronology)

情報を時系列に並べたもの。また、情報を時系列に沿って  
ホワイトボードなどに書き出し、整理する手法。自衛隊  
などでは古くから利用されており、緊急時の情報管理方法  
として定着しています。



出典:消防防災科学センター「災害写真データベース」

### 想定課題

### Before

災害時、現場・各部署から大量の情報が  
さまざまな手段で報告されるため、事務局  
は情報処理に追われ、結果的に経営層への  
報告が遅れ、意思決定が遅れる、重要情報  
を見落とすといった問題が発生します。



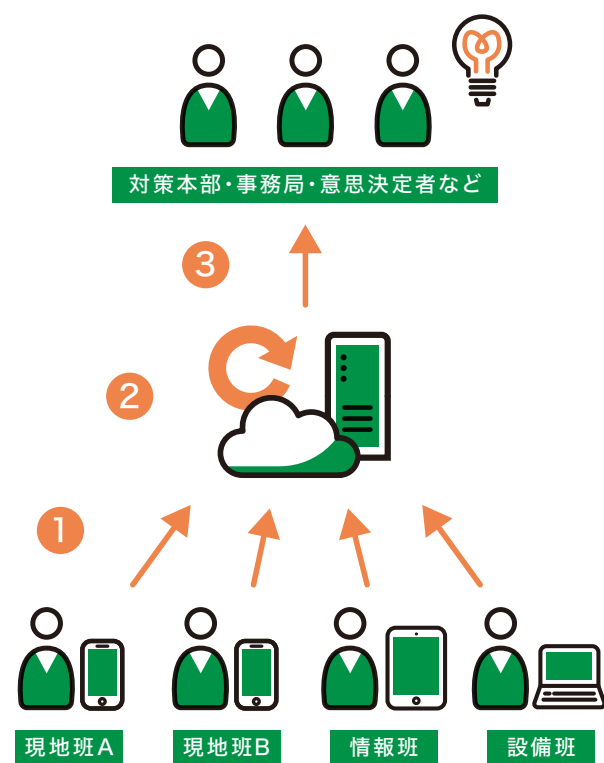
#### 情報が錯綜する災害対策本部



出典:消防防災科学センター「災害写真データベース」

## シンプルな仕組みで あわただしい現場でも簡単に 情報を一元化・見える化

災害情報を時系列に沿ってホワイトボードに書き出す作業  
(クロノロジー)は、どの業種・業態でも定着している手法  
です。これをそのままシステム化することで、現場に負担を  
かけることなく、リアルタイムな情報共有を実現します。



今、何が起きているか  
リアルタイムに  
把握できる

3

一元化された情報を  
リアルタイムに共有

2

サーバーに時系列で  
全社の情報を一元化

1

PC・スマートフォンから  
時系列に沿って入力

### 導入効果

### After

入ってきた情報を、入ってきたまま、時系列で入力するだけのシンプル  
な操作なので、情報の収集・共有にかかる時間と労力を大幅に削減  
することができます。



ボトルネックポイントを改善。  
全社員の時間と労力が削減され、  
さまざまな効果を生み出します。

大量の情報が  
時系列で  
まとまる

最新情報を  
全社員で  
見られる

自宅からも  
状況把握  
できる

報告資料が  
すぐ作れる

意思決定が  
早く・正確に  
なる

データから  
振り返りが  
できる

国・製造業・鉄道業・ライフライン事業・金融業など、  
さまざまな業界のお客さまに採用いただき、  
経験と実績を重ねています。



## 代表的な2つの機能

災害ネットは、「災害時」という特異な状況の情報共有に対応するため、「シンプル」な操作にこだわった「必要最低限」の機能のみをご用意しています。

### クロノロジー（時系列）機能

収集した情報を時系列で記録、必要な情報を上位にエスカレーションする機能。



The diagram illustrates the Chronology Function workflow. On the left, the '下位チーム' (Lower Team) is represented by three icons: a person at a computer, a person with a smartphone, and a person at a computer. On the right, the '上位チーム' (Upper Team) is represented by a single person at a computer icon. Three numbered steps are shown: 1. Information is input into the Chronology page for the organization. 2. Only necessary information is shared with the upper team. 3. The upper team confirms the information from the lower team.

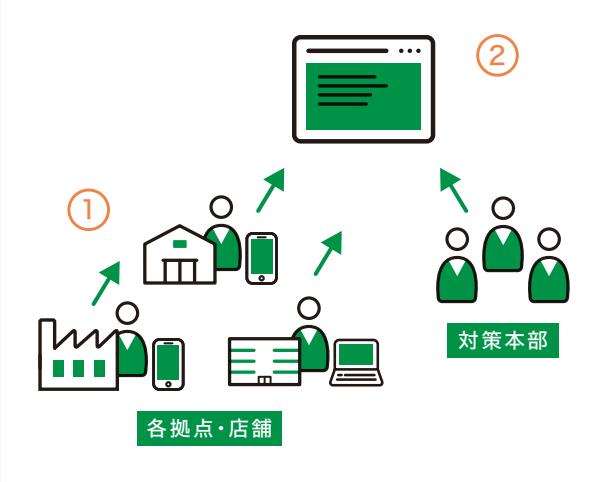
- 1 組織ごとにクロノロジーページに情報を入力
- 2 必要な情報のみを上位チームに共有
- 3 上位チームは下位チームからの情報を確認



A screenshot of the Chronology Function interface on a desktop. It shows a table with columns for '日時' (Date/Time), '場所' (Location), '内容' (Content), '状況' (Status), '担当者' (Person in Charge), and '入力者' (Inputter). The table contains several rows of data, including dates like '1429-5' and '1429-6', and locations like '1429-5' and '1429-6'. To the right of the screenshot are two smartphone screens displaying the same interface on a mobile device.

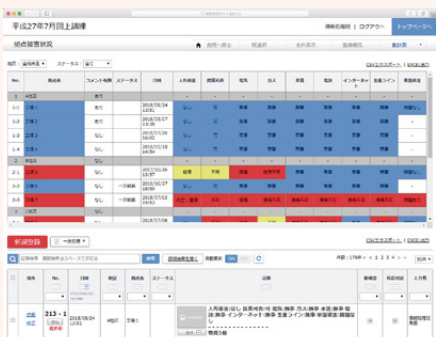
### 集計表機能

拠点や工場、店舗などが被災状況を入力し、アンケート形式で回答。回答内容を集計し、一覧表示する機能。



The diagram illustrates the Summary Table Function workflow. On the left, '各拠点・店舗' (Each Branch/Store) is represented by three icons: a factory, a person with a smartphone, and a person at a computer. On the right, '対策本部' (Countermeasures Headquarters) is represented by three person icons. Two numbered steps are shown: 1. Access the report page and answer the questionnaire. 2. Confirm the summarized content in a summary table format.

- 1 報告ページにアクセスし、アンケート形式で回答
- 2 集計された内容を一覧表形式で確認



A screenshot of the Summary Table Function interface on a desktop. It shows a table with columns for '拠点' (Branch), '状況' (Status), '入力者' (Inputter), and '入力日時' (Input Date/Time). The table contains several rows of data, including dates like '1429-5' and '1429-6', and locations like '1429-5' and '1429-6'. To the right of the screenshot are two smartphone screens displaying the same interface on a mobile device.

日本ユニシス株式会社

本社 東京都江東区豊洲1-1-1 〒135-8560

電話 03-5546-4111 (大代表)

災害ネットについて <https://www.unisys.co.jp/solution/biz/disaster-net/>

Copyright© 2018 Nihon Unisys, Ltd. All rights reserved.

本リーフレットに掲載されている文章、写真、イラスト、画像およびこれらを組み合わせた編集物は著作権法による保護を受けており、これらの著作権は、日本ユニシス株式会社に帰属するほか、第三者の著作によるものである場合は当該第三者に帰属しています。

●お問い合わせ先



090001112-0 シ1809